

るものなく、丞相完澤の如きも漢文を解し得ざるものであつた等の例を擧げてゐる。此の如く元朝に於て天子諸王はいふに及ばず、宰相等にも漢文を解せざるものゝ多かつたことは疑ふべからざる事實で、趙翼の擧げた以外にも、其の例證は少くない。たゞ二三の例を擧げてこれを補ふならば、裕宗眞金の長子で、泰定帝の父なる顯宗にについては、

撫循部曲之暇。則命也滅堅。以國語講通鑑。元史卷百十四、
顯宗列傳

と記され、英宗については其の即位の年十二月乙卯

翰林學士忽都魯都兒譯進宋儒眞德秀大學衍義。元史英
宗本紀

と見え、元朝最後の天子なる順帝についても、

至正元年……是時康里夔夔以翰林學士承旨亦在經筵。在上前敷陳經義。朶兒直班則爲翻譯。曲盡其意。多啓

沃。元史卷百三十九、
朶兒直班傳

と見えて居る。即ち國初中葉のみならず、其の最後の時代に至つても、元の天子は漢文には通じなかつたものである。更に丞相について最も著しい例證を示すならば、前記順帝の至正四年、脱脱に代つて中書右丞相に拜せられた阿魯圖が、翌至正五年かねてから編纂されて居つた遼金宋三史を上つた時に、

至正五年三史成。十月阿魯圖等既以其書進。帝御宣文閣。……阿魯圖上奏。……今陛下以三國事績命儒子纂修。而臣阿魯圖總裁。臣素不讀漢人文書。未解其義。今者進呈。萬機之暇乞以備乙覽。元史卷百三十九、
阿魯圖傳

と見える。阿魯圖は蒙古の元勳博爾朮四世の孫で、蒙古人としての名門である。當時右丞相として領三史事であつ